

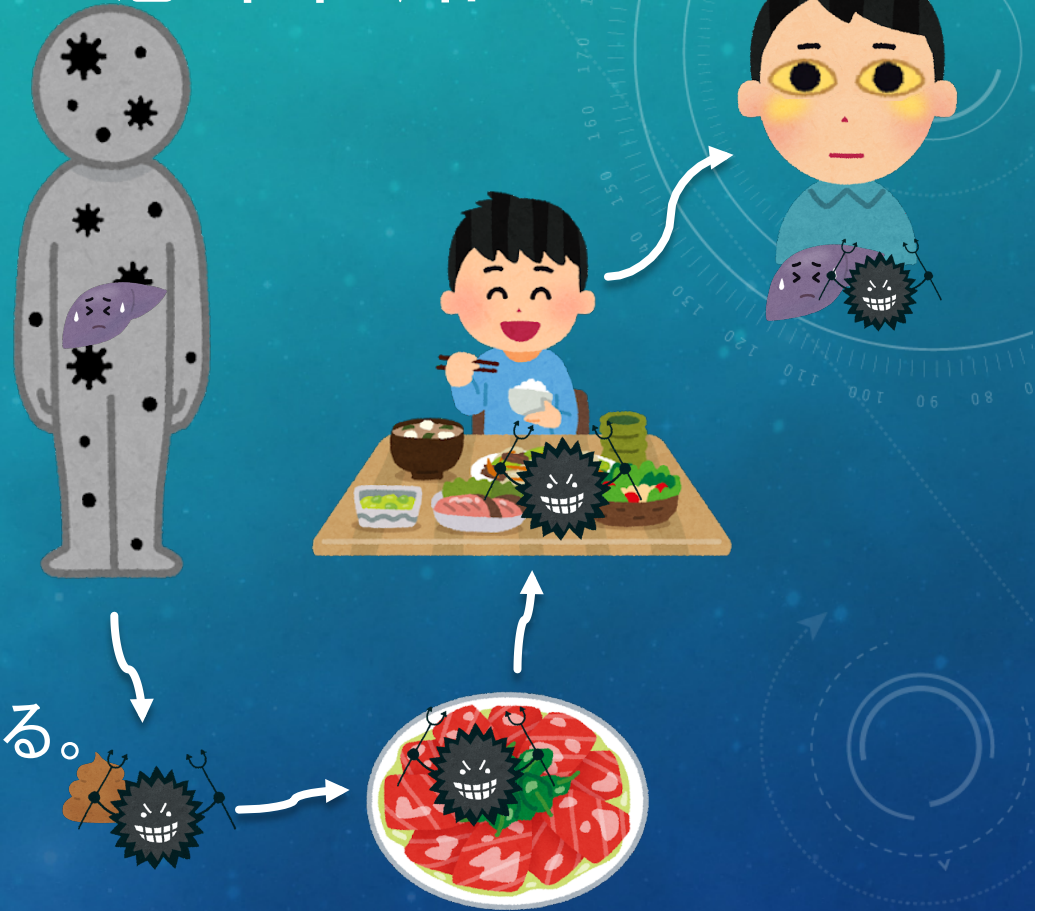
A型肝炎とは？

(2018年10月10日更新)

- 感染経路
- 流行の特徴・ハイリスク群
- 予防
- 抗体保有率推移
- 抗体保有率と患者数の関係

A型肝炎の感染経路

- 患者肝臓で増殖したA型肝炎ウイルス(HAV)は便中に排出される。
- 患者便への直接接触、あるいは汚染された飲食物を介して感染が広がる。
- 発症の約2週間前から発症後にかけて、便中にウイルスが排出される。
→ 感染を自覚する前、あるいは回復後、知らないうちに感染を広げる可能性がある。



病気の特徴

- A型肝炎の初期症状は倦怠感や発熱、頭痛、筋肉痛等であり、一般的な風邪やインフルエンザと間違われて確定診断が遅れる例も報告されている。
- 小児では不顕性感染や軽症ですむことが多く、6歳以下の黄疸出現率は10%以下である。これに対して成人は40-70%が黄疸を示し、臨床症状も肝障害の程度も強い傾向がある。
- 一般的に予後は良好であり、慢性肝炎や肝硬変などの病態を生じることはないが、回復までに一ヶ月程度の安静、入院加療を必要とすることが多く、一時的とはいえ、Quality of Life (QOL)の損失は大きい。
- A型肝炎の致死率は、全体では0.3%、50歳以上になると1.8%に増加する。
- 日本ではA型肝炎患者における高齢者の割合が増加している。

流行の特徴

- 日本を含めた先進諸国では散発例がほとんど。
まれに小規模集団発生（汚染された輸入食材の喫食や調理人による汚染等）が報告される。
- 患者はハイリスク群に集約される傾向にある。
ハイリスク群
 - ✓ HAV常在地への旅行者
（例年感染者の20-30%を占める）
 - ✓ 患者家族・同居者等
 - ✓ 男性同性愛者
（Men who have sex with men, MSM）
 - ✓ 静注薬物使用者

A型肝炎の予防

- 加熱調理：85°C、1分以上
- 手洗いを始めとする衛生管理によって感染経路を遮断する。
- 回復後も便中にウイルスが排出されている可能性があることを説明するなどの二次感染防止指導
- ワクチン接種による抗体獲得

HAV感受性者の推移

日本では、A型肝炎に対する抗体を持っていない人＝HAV感受性者が増えている。

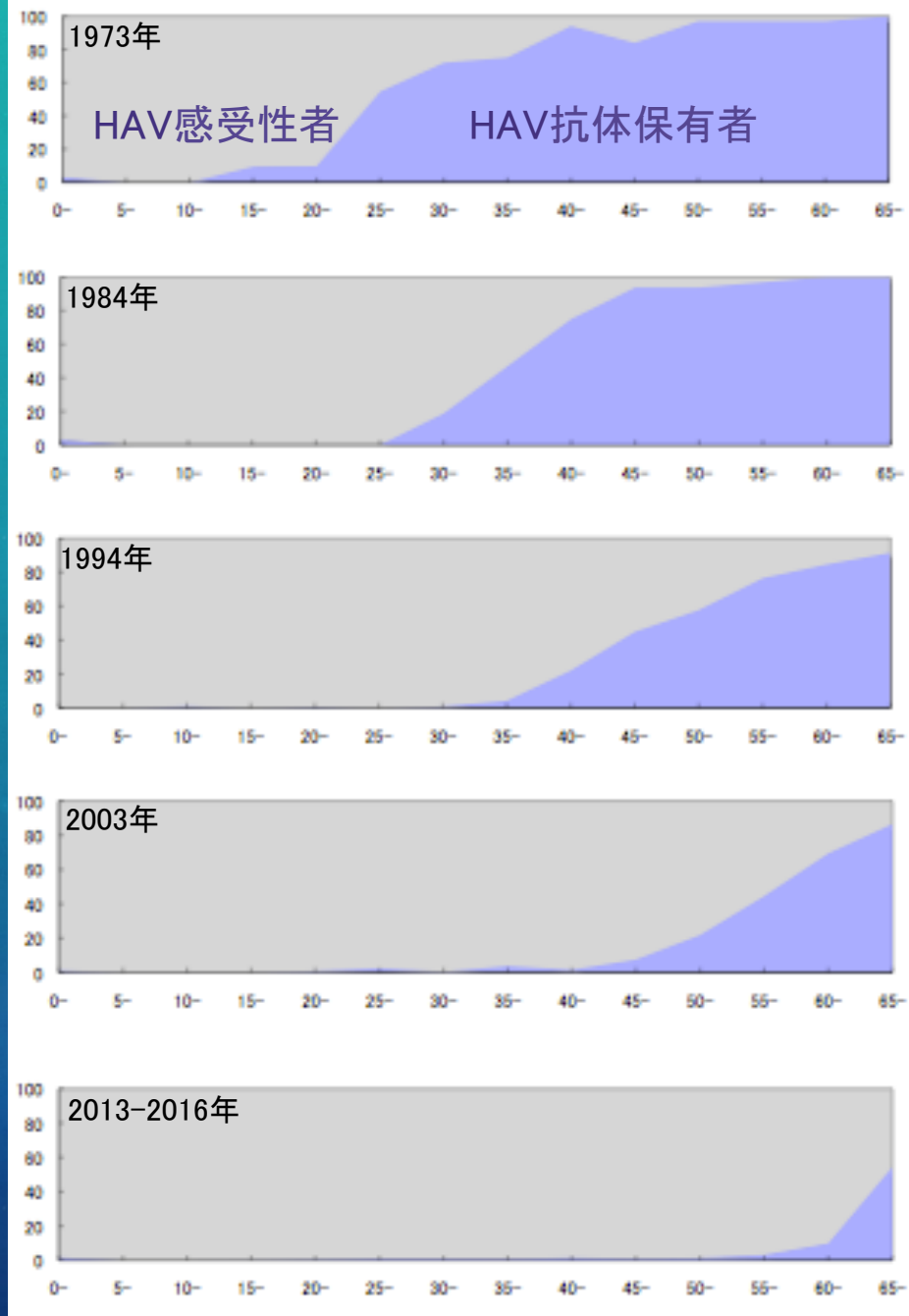
右のグラフはHAV感受性者の割合（灰色）が年々増加していることを示す。

抗体を持っている人達（藤色）は年々高齢化し、減少している。

2018年の集計では、人口の約80%はHAV感受性者と推定される。

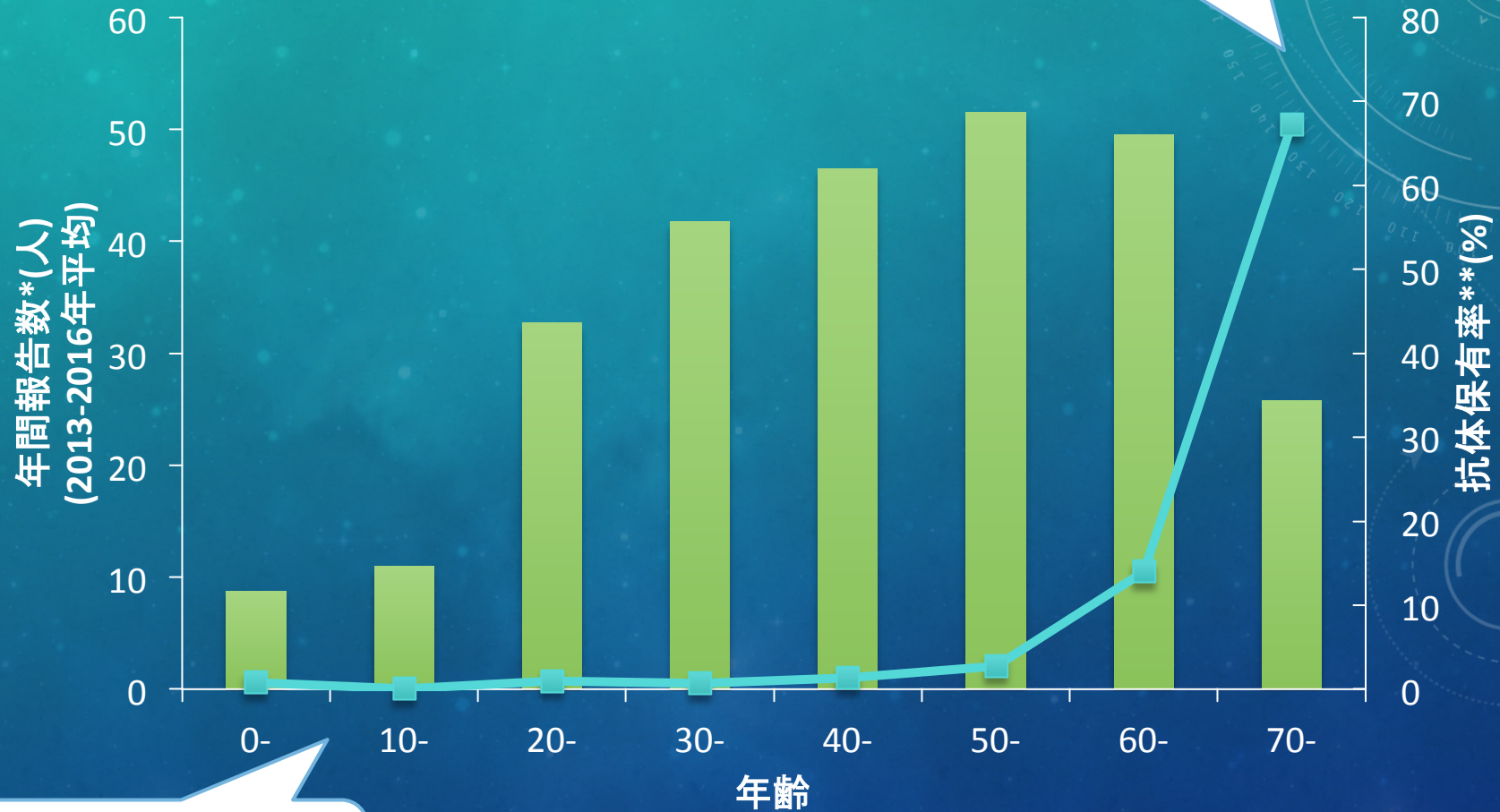
1973-2003年: Kiyohara T, Sato T, Totsuka A et al.: Shifting seroepidemiology of hepatitis A in Japan, 1973-2003. Microbiol Immunol 51;185-191,2007.

2013-2016年: 感染研研究データ(取りまとめ中)



患者数と抗体保有率

抗体保有率が高い年代は
A型肝炎報告数が少なくなる。



若年層は不顕性感染
が多く、届出も少ない。

■ 年間報告数 ■ 抗体保有率

*感染症発生動向調査(2013-2016年)
**2013-2016年調査データ

参考文献・通知等

- World Health Organization, Department of Communicable Disease Surveillance and Response: Hepatitis A. 2000. Available at <http://www.who.int/csr/disease/hepatitis/whocdscsredc2007/en/index.html>
- Fiore AE. Hepatitis A transmitted by food. CID 2004; 38: 705-15.
- Jacobsen KH, Koopman JS: The effects of socioeconomic development on worldwide hepatitis A virus seroprevalence patterns. Int J Epidemiol 34;600-609, 2005.
- Kiyohara T, Sato T, Totsuka A et al.: Shifting seroepidemiology of hepatitis A in Japan, 1973-2003. Microbiol Immunol 51;185-191,2007.
- Jacobsen KH, Wiersma ST: Hepatitis A virus seroprevalence by age and world region, 1990 and 2005. Vaccine 28;6653-6657,2010.
- 感染研感染症疫学センター：病原微生物検出情報 36(1), 2015.
- 清原知子：A型肝炎抗体保有率からみた疫学. 医学のあゆみ 262(14), 2017.
- 平成22年4月26日
健感発第0426第2号、食安監発0426第4号＜A型肝炎発生届受理時の検体の確保等について＞
- 平成30年2月22日
薬生食監発0222第2号＜A型肝炎ウイルスによる食中毒の予防について＞
- 平成30年7月18日
健感発0718第2号＜A型肝炎患者の報告数増加に伴う注意喚起について(協力依頼)＞